

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和 7 年 11 月検出分 検体採取 令和 7 年 10 月及び 11 月)

令和 7 年 12 月 12 日

鳥取県衛生環境研究所

## 1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体 81 件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

### ○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ A 型及び B 型、パラインフルエンザ 1-4、RS-A 型及び B 型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナ NL63 (※1)、コロナ OC43 (※2)

### ○検査対象（細菌）

百日咳菌、*Bordetella holmesii*、*B. parapertussis* (※1)、マイコプラズマ (※1)

※1 5 月 21 日搬入検体分より実施。

※2 10 月 1 日搬入検体分より実施。

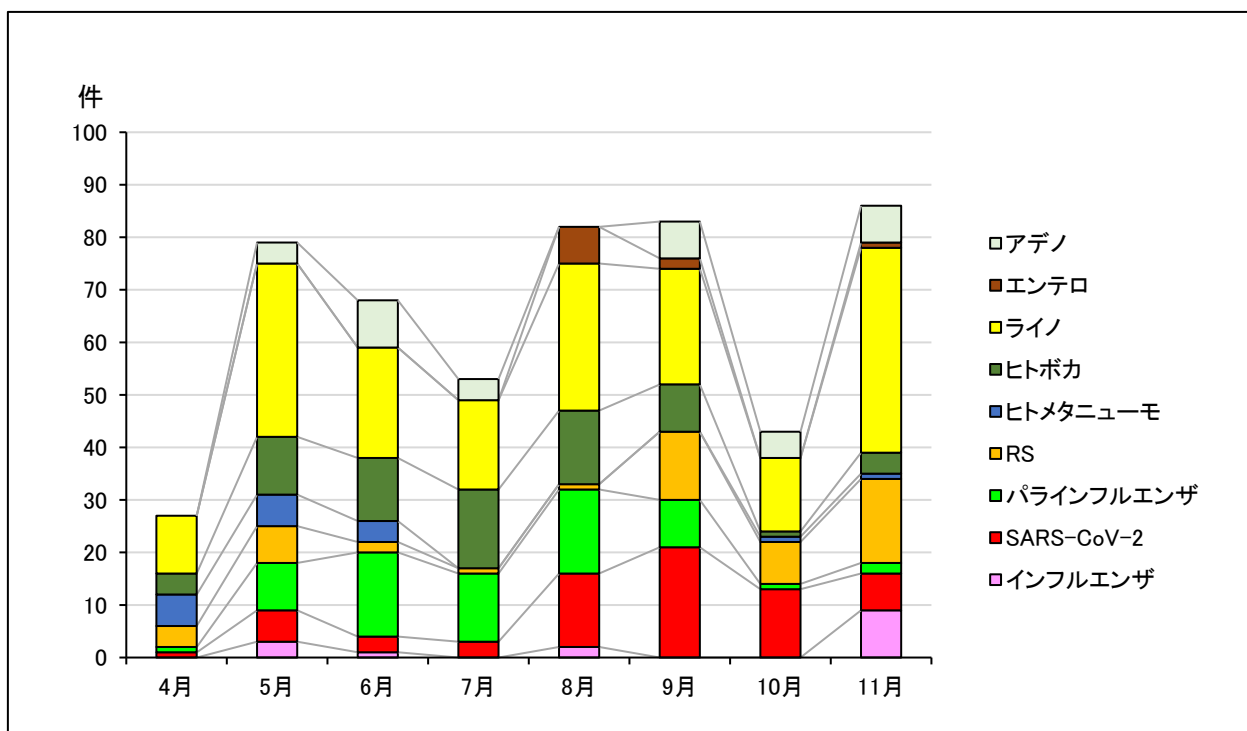
### ○検出結果

81 件中 64 検体 (79%) から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：39 件、ボカ：4 件、ヒトメタニューモ：1 件、RS-A 型：1 件、RS-B 型：9 件、SARS-CoV-2：7 件、パラインフルエンザ 2：2 件、アデノ：6 件、エンテロ：1 件、インフルエンザ A 型：9 件、百日咳：1 件、マイコプラズマ：6 件であった。4 月から 11 月検出分と合わせた年齢別検出数は表 1 のとおり (ただし、検出件数は重複検出を含む。 )。

表 1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数 (令和 7 年 4 月～11 月検出分)

病原体年齢別検出数 (検出月/累積)																
年齢	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≤		合計	
標本数	34	207	5	32	2	10	9	38	14	79	11	96	6	43	81	505
ライノ	27	129	2	13	1	5	4	10	4	18	1	9		1	39	185
ボカ	4	65		1				1				2		1	4	70
ヒトメタニューモ	1	10							2			6			1	18
RS-A	1	3							1			2			1	6
RS-B	1	16	1	2			1	1	2	2	6	4	6	9	33	
SARS-CoV-2	2	10		1		1	1	6	1	13	2	23	1	14	7	68
パラインフルエンザ 1		1										1				2
パラインフルエンザ 2	1	6	1	2								2			2	10
パラインフルエンザ 3		15							6			6		5		32
パラインフルエンザ 4		19		1					1		2		1			24
アデノ	5	20	1	2				3							6	25
エンテロ	1	10													1	10
インフルエンザ A 型	4	4			1	1	2	2	2	3					9	10
インフルエンザ B 型		1				2		1		1						5
百日咳			1	2								1			1	3
コロナ NL63		2										1				3
コロナ OC43																0
マイコプラズマ	2	7		1		1	2	4	2	3		1			6	17
検出せず	4	18		10	1	2	1	16	4	30	6	37	1	15	17	128

図 1. 月別主要ウイルス検出状況（令和 7 年 4 月～11 月検出分）



アデノウイルス 6 件のうち、4 件が C 種 2 型であった。アデノウイルス C 種 2 型は急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。また、他 2 件は解析中である。

インフルエンザ A 型 9 件のうち、1 件が pdm09 型、8 件が H3 型であった。pdm09 型 1 件のタミフル耐性は判定不能であった。H3 型のうち 5 件でシーケンスによる解析を実施したところ、現在国内で流行している変異株サブクレード K が表 2 のとおり検出された。

表 2. インフルエンザ AH3 型シーケンス解析結果（令和 7 年 11 月検出分）

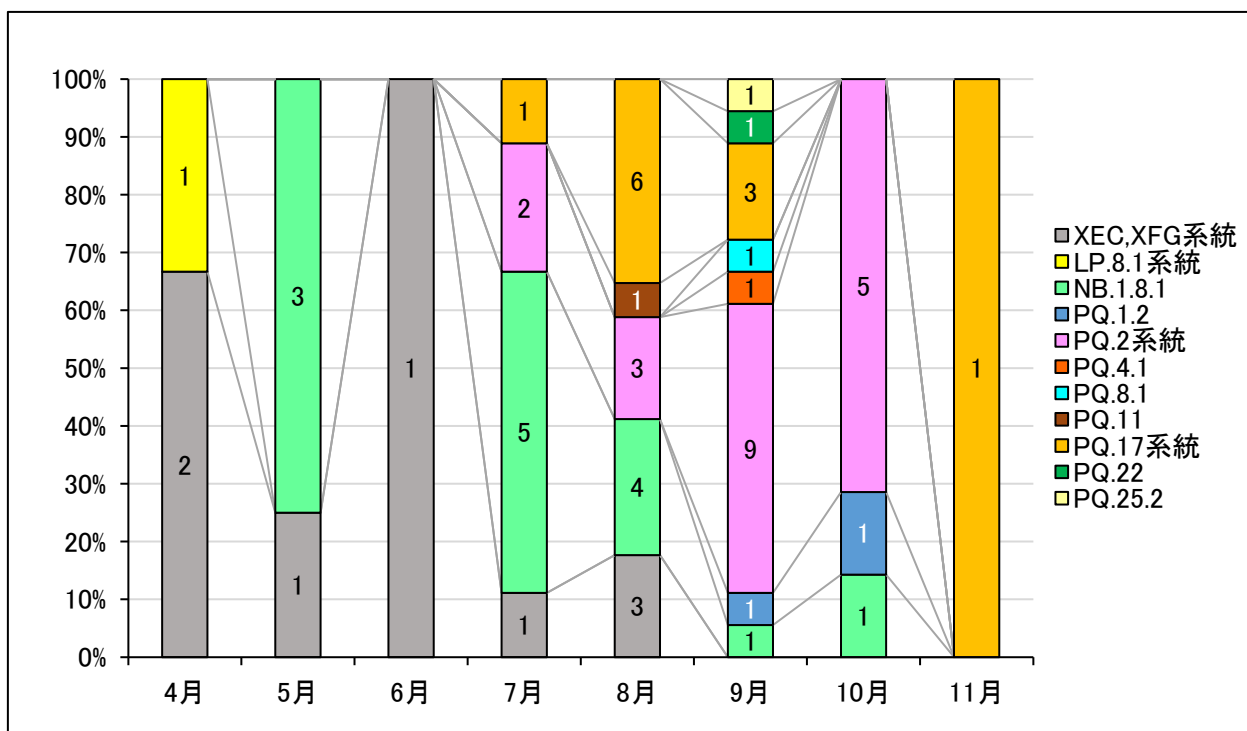
検体採取年月日	居住地域	型別
R7. 11. 11	境港市	サブクレード K
R7. 11. 13	鳥取市	サブクレード K
R7. 11. 15	鳥取市	サブクレード K
R7. 11. 18	鳥取市	サブクレード K
R7. 11. 18	境港市	サブクレード K

SARS-CoV-2 の系統は表 3 及び図 2 に示すとおり、PQ. 2. 8. 1 が 1 件、PQ. 1. 2 が 1 件、PQ. 2. 1. 3 が 1 件、PQ. 17 が 1 件であった。国立感染症研究所が公開している全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況でも、NB. 1. 8. 1 系統と、PQ. 2. 1. 3 などの NB. 1. 8. 1 系統の下位系統が依然大多数を占めている。

表 3. SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 7 年 11 月検出分）

検体採取年月日	年齢	型別
R7. 10. 18	80 歳以上	PQ. 2. 8. 1
R7. 10. 21	60 代	PQ. 1. 2
R7. 10. 25	70 代	PQ. 2. 1. 3
R7. 11. 6	50 代	PQ. 17

図 2. 月別 SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 7 年 4 月～11 月検出分）



## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の 5 件について検査を行ったところ、サポウイルスが 1 件検出された。その他、感染性胃腸炎の原因となりうるウイルスは検出されなかった。

## 3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名が A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎について、6 件の受け入れがあり、そのうち 1 件からは A 群溶血性レンサ球菌は検出されなかった。他 5 件は、現在解析中である。

## 4 流行性角結膜炎

臨床診断名が咽頭結膜熱の 1 件について検査を行ったところ、アデノウイルスが検出された。型は現在解析中である。

## 5 RS ウイルス感染症

臨床診断名が RS ウイルス感染症の 6 件について検査を行ったところ、RS ウイルス A 型が 1 件、B 型が 5 件検出された。